

平成28年度 埼玉県学力・学習状況調査 結果分析票

学校名: 志木市立宗岡第二中学校 第 2 学年			
項目	成果	課題	改善策
国語	県平均を10%以上下回っている設問の数が4問と少なかった。特に、言語の知識・理解・技能について、市・県の平均に近かったり、上回ったりする設問が多く、知識の定着が窺えた。	古文に関して正答率が低く、無解答率も高い。また、説明的な文章に関するほとんどが平均を下回っている。	古文の基礎から復習し、音読を徹底して苦手意識をなくしていきたい。また、説明的な文章については、事実と意見を読み分ける指導や、要旨をまとめて書く指導を心がけたい。
算数 数学	何かしらの記述をした問題が7問あり、少しでも考えて答えようとする意識が高まってきた。	市内、県内の平均を超えるものはほとんどないこと。無回答の割合も平均より高い問題もあり、誤答の割合も高い。	家庭学習の習慣の呼びかけ。復習することの大切さを感じさせたい。生徒、保護者に、家庭での学習に対する意識の底上げ。
英語 中学校	多くの問題において市内、県平均を下回ったが、記述式の表現問題で1問、上回っていた解答があった。問題によっては、市内平均より下であっても県平均は上回っているものもいくつかあった。	正答にたどり着くための文法理解が足りない。特に、語順の理解が不十分。英文を読み取る力、書く力が不足している。	既習事項であっても、基礎、基本を繰り返し確認しながら、新しい内容を加えていく形で、スパイラル学習を十分行う。4技能をバランスよく、生徒が主体的に学習できる密度の濃い授業を行う。家庭学習をやりやすい指標や助けになる素材を与える。
児童 生徒 質問 紙	勉強に関して、学校の授業の予習復習をしている割合が低い。難しい問題ができる自信がない生徒の割合が高いが、反面、あきらめずに問題に取り組む割合も他よりも高い。将来の夢や目標、働く意欲は県平均同様にきちんと持ち、卒業後の進路に対して関心を持っている。	勉強に自信を持たず、良い成績は取れないと思う生徒が4割以上いる。自己肯定感が低い生徒の割合が他より高い。将来は大学へ行かずに高校、専門学校までと考える割合が3割。スマホやネットの使用時間数では、45%が毎日2時間以上と回答している。	勉強のやり方を細かく指導、誘導していく。勉強した成果に対する達成感や成功体験を持つ機会を多く与える。スマホに費やす時間の長さや時間の使い方について考えさせる機会を与える。